



2012年3月期上半期は、東日本大震災後の不安定な環境下にありながら、想定以上の売上高・利益成長を果たし、同期間として経常最高益を達成することができました。さまざまな取り組みの成果に加えて、ファッションの持つ、人々を癒やし勇気付ける力の大きさを改めて実感しています。

ユニテッドアローズグループは、2014年3月期に向けた中期事業戦略を掲げました。当社グループが描く未来の姿に、どうぞご期待ください。

2011年12月

代表取締役 社長

重松 理

Q 再成長への離陸の期と位置付けた2012年3月期上半期を振り返って、どのように評価されていますか。

今期の重点取組課題などの成果が安定した営業基盤の強化につながり、再成長への助走から離陸の段階に前進したという手応えを得ました。

当上半期は、期初の想定を超えた売上高・利益成長を果たし、同期間として経常最高益を更新することができました。引き続き主力業態の「ユニテッドアローズ」「グリーンレーベルリラクシング」の小売既存店と、「ZOZOTOWN」「ユニテッドアローズ オンラインストア」のネット通販が好調に推移したことが主な要因です。従来取り組んでいる商品プラットフォームの推進と、今期の重点課題として掲げた「商品・販売・宣伝部門の連携サイクルの強化」の成果が、買上客数や在庫消化率の向上につながり、売上高・売上総利益の増加やたな卸資産の減少などという結果となって表れました。安定した営業基盤の構築が進み、再成長への離陸の手応えを得ることができました。

東日本大震災の影響を受け、当上半期は節電や営業時間短縮の実施など先行き不透明な環境下にありました。しかし、消費マインドは震災後一時的に低下したものの、比較的短期間で回復を遂げました。ファッションの持つ、人々を明るくし心を豊かにする力が、洋服を買うという行為によってお客様の心を勇気付ける要素になったのではないかと感じています。

東日本大震災チャリティプロジェクト「ムービング オントウギャザー！」では、ファッションを通してお客様とともに被災地の復興と再生のための支援をさせていただきました。私たちの活動にご賛同・ご協力いただいた皆様には、心よりお礼申し上げます。今後も継続して支援活動を行ってまいります。

Q 11月に発表した中期事業戦略についてお聞かせください。

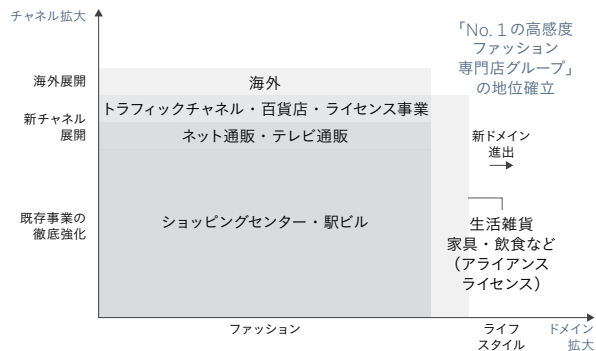
既存事業の徹底強化を基盤に、新チャネル展開や新ドメイン進出などを行い、「No. 1の高感性ファッション専門店グループ」の地位を確立します。

2014年3月期に向けた中期経営目標として、ユナイテッドアローズグループは、連結売上高1,100～1,200億円、経常利益105～115億円を目指します。

この目標を達成するための具体的な事業戦略として、引き続き既存事業の徹底強化による収益基盤の安定化を図り、新チャネルの開拓、新ドメインへの進出、海外への展開を行います。

中期的な安定成長には、引き続き既存事業の徹底強化が軸となります。現在の既存事業好調の背景には、商品・販売部門の連携による商品力・MDバランスの向上、商品プラットフォームの活用による在庫の適正化があります。今後は、これらの業務運営方法のマニュアル化・技術体系化を推進し、誰でも確実に業務を遂行できる体制を構築します。これを前提と

中期事業戦略の方向性



して、既存店・ネット通販の強化と新規出店を推進します。

再び新事業開発にも挑戦します。マーケット全体として新事業が生まれにくい状況にありますが、お客様や商業施設などからも次の事業開発を強く望む声が寄せられています。そうしたご期待にお応えしていくことも私たちの使命であり、中長期的な事業拡大のための施策として取り組んでまいります。

新チャネル開拓の進捗状況として、11月に駅構内商業施設第1号店「ザステーションストア ユナイテッドアローズ エチ

#### ザステーションストア ユナイテッドアローズ

2011年11月、東京メトロ表参道駅の駅チカ商業施設「エチカ表参道」に第1号店がオープンしました。駅を利用される女性をコアターゲットに、当社が展開する複数のストアブランドからセレクトした商品と、ステーションストア限定商品をミックス展開するお店。



#### イトーヤウイス ユナイテッドアローズ

2011年10月、老舗文房具専門店「銀座・伊東屋」とのコラボにより「阪急メンズトキョー」(東京・有楽町)にオープンしました。「ユナイテッドアローズ」のブランドバリューを活かしてライセンスメーカーと共同開発した服飾雑貨などを同店内にてコーナー展開。



カ表参道店」がオープンしました。さらに12月には、高速道路のサービスエリアをターゲットとする新業態「ザ ハイウェイストア ユナイテッドアローズ」が、東名高速道路 海老名サービスエリアにてスタートする予定です。

ライセンス事業では、「イトーヤ ウィズ ユナイテッドアローズ」がスタートしました。これを皮切りに、今後協業するライセンスメーカーを広げて商品バリエーションの拡充を図り、新たな手段での成長拡大を目指します。

これらのほか、生活雑貨や家具などの新ドメインや海外への進出により、「No.1の高感度ファッション専門店グループ」の地位を確立し、その先の事業拡大の道筋を付けてまいります。

Q 中期事業戦略を踏まえ、株主の皆様へメッセージをお願いします。

次の成長を目指すステージに到達した今、当社グループが描く未来の姿にどうぞご期待ください。

3年間の業績低迷を経て、私が社長に復帰した2010年3月期以降、さまざまな改革に取り組んでまいりました。その結果、再成長への足場固めから助走へ、そして今期は離陸への手応えを得るまでに回復を遂げ、当社グループは次の成長を目指すステージに到達することができました。ひとえに、お客様や株主様をはじめとするステークホルダーの皆様の温かいご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。今後は当社グループが描く未来の姿にもどうぞご期待ください。

株主の皆様には、平素より格別のご支援とご厚誼に心よりお礼申し上げます。引き続き、倍旧のご理解とお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。